

アセアン物流における 物流事業者選定

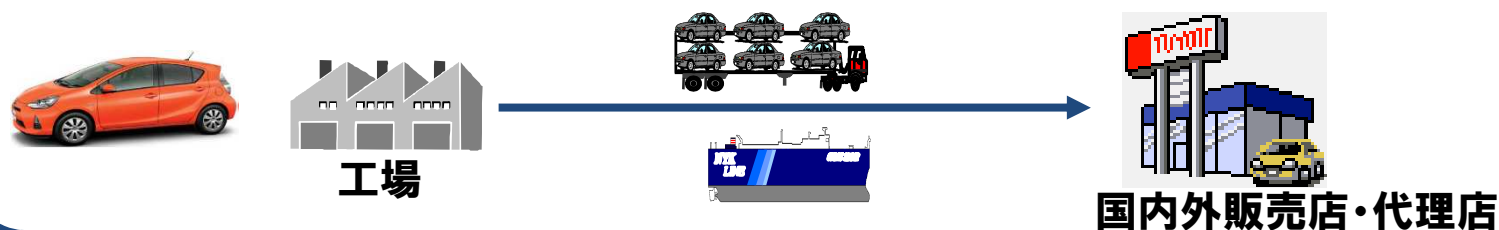
2015年6月10日

トヨタ自動車(株)

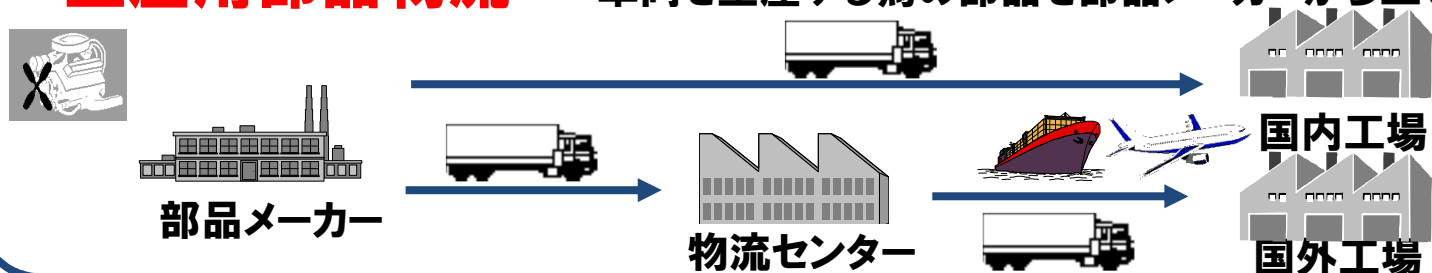
物流管理部 成瀬茂広

当社の主な物流

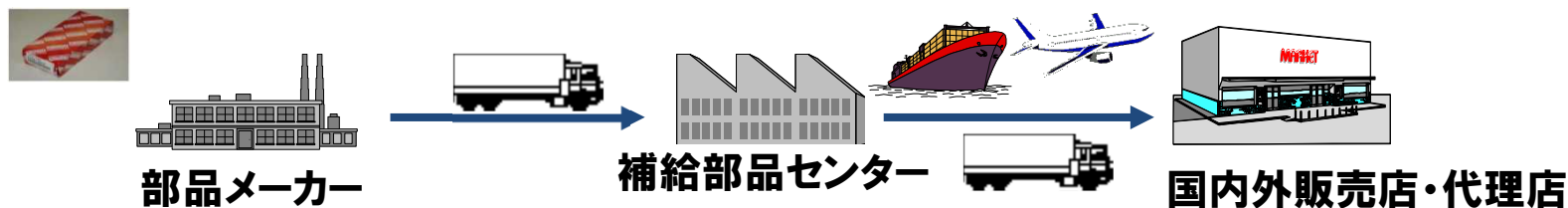
■完成車物流 ～工場で生産された車を販売店へ～



■生産用部品物流 ～車両を生産する為の部品を部品メーカーから工場へ～



■補給部品物流 ～車が故障したときに使う補修部品や新車時の用品を販売店へ～

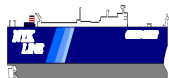


当社の主な物流

■完成車物流



工場

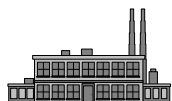


国内外販売店・代理店

■特殊領域

- ・専用トレーラー
- ・専用船
(限られたプレーヤー)

■生産部品物流



部品メーカー



物流センター



国内外工場

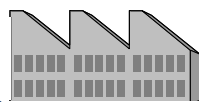
■汎用領域

- ・汎用トラック/トレーラー
- ・汎用船/飛行機

■補給部品物流



部品メーカー



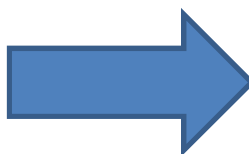
補給部品センター



国内外販売店・代理店

■汎用領域

- ・汎用トラック/トレーラー
- ・汎用船/飛行機

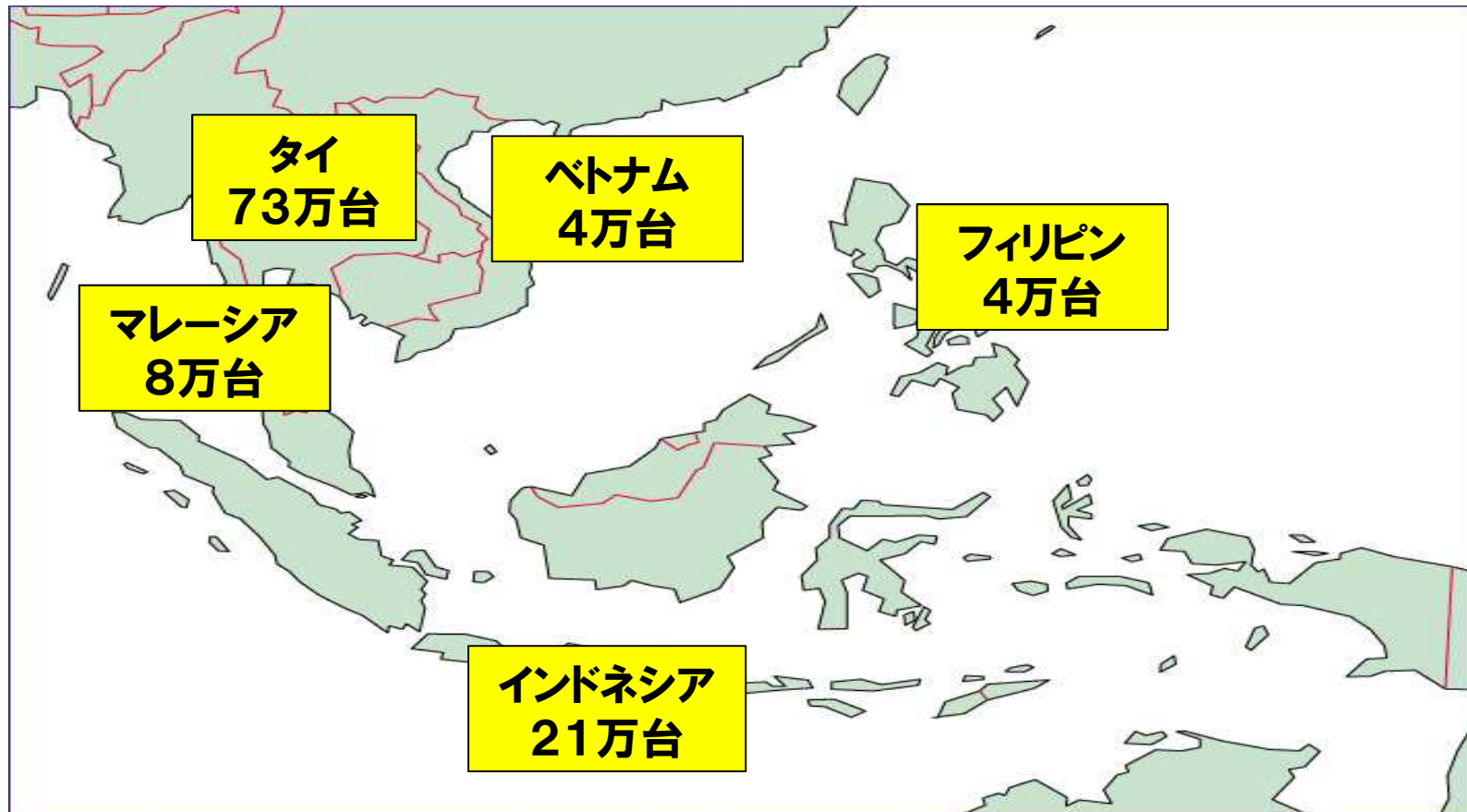


汎用的かつ量の多い生産部品物流を例にご説明

当社アセアン域内生産状況

＜アセアンでの生産台数('14年実績)＞約110万台

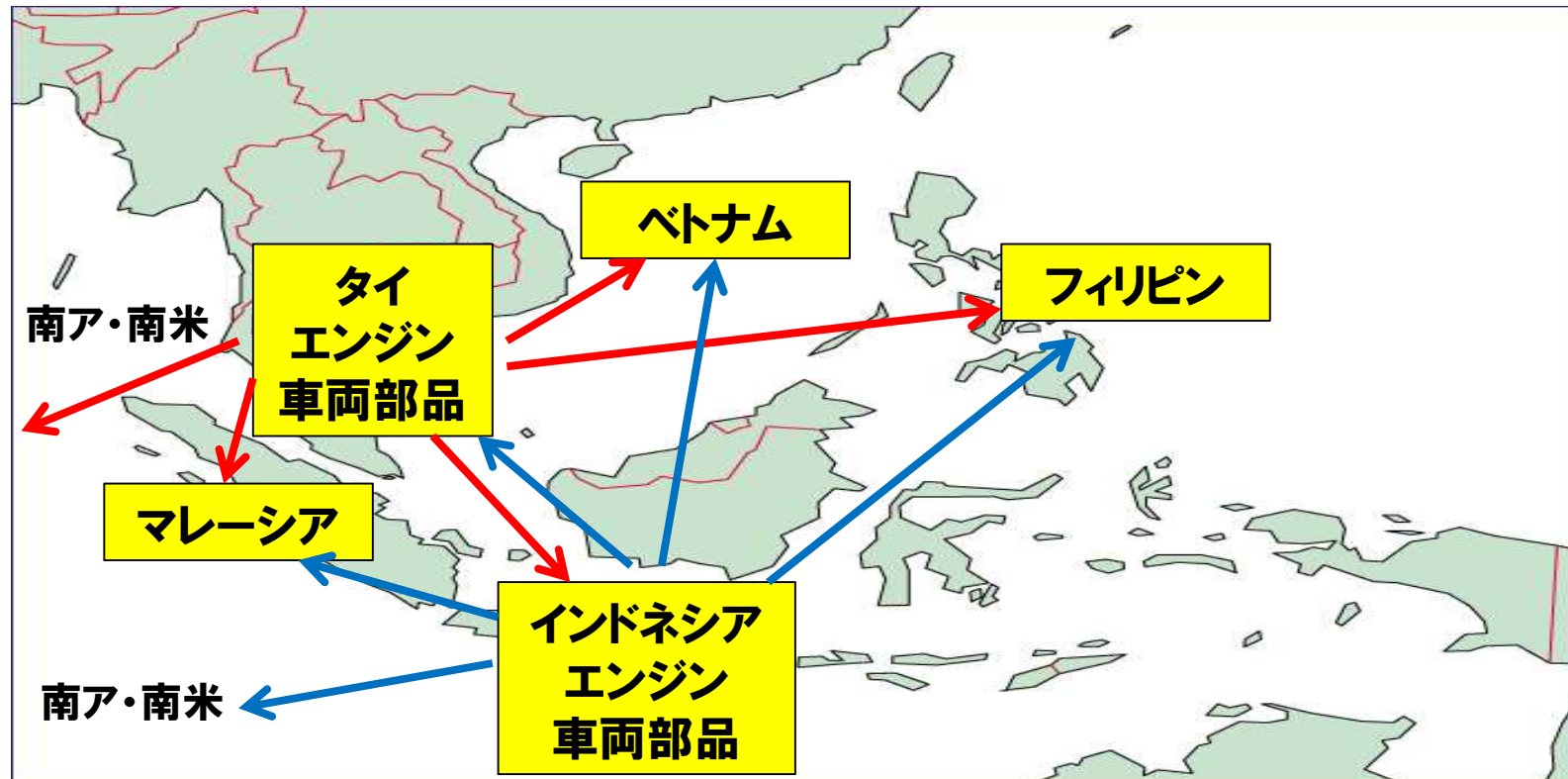
・タイが中心拠点。次にインドネシア。



上記工場への部品供給を支えるのが、生産部品物流

当社アセアン域物流の特徴

- ・タイ、インドネシアは主要な部品出荷拠点であり、アセアン域内だけでなく南ア、南米等への供給あり
(IMV (International Multi-purpose Vehicle) 用部品)



当社の生産・物流の基本的な考え方

1. 売れに結びついた製品(車)をつくる
2. よりよい品質の製品(車)をつくる
3. より安く製品(車)をつくる
4. 変化に素早く対応する。



<物流の使命>

上記を実現するための物流体制の構築

事業者選定の考え方

目指す物流

安全

高品質

安定供給

短リードタイム

納期遵守

低コスト

柔軟性

リスク対応

基本事項

法令順守

相互信頼

長期安定

改善活動

一緒に取り組んでいただけるパートナーを選定

事業者選定の考え方(アセアン)

アセアン物流の特徴(日本との比較)

■カントリーリスクが高い

- ・自然災害:タイ洪水、ジャカルタ洪水
- ・インフラリスク:マニラ港の混雑

■オペレーションリスクが高い

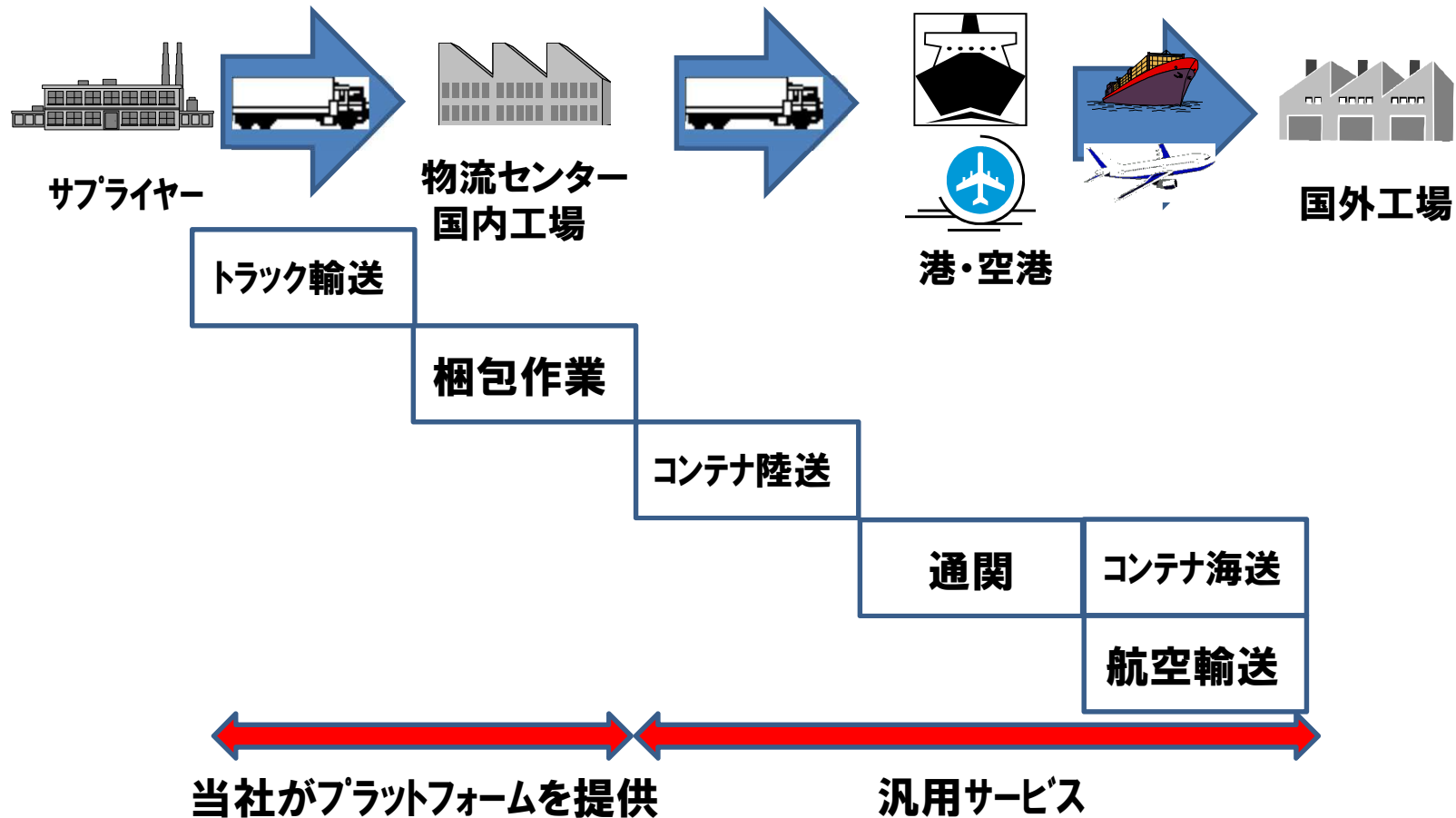
<事例>

- ・在庫の管理不備→突然の部品欠品
- ・設備トラブル→緊急バックアップ



日本以上に強固な体制が必要

生産用部品の物流委託範囲 (タイの事例)



モード別の評価項目

	トラック輸送	梱包作業	コンテナ陸送	通関	コンテナ海送	航空輸送
安全	○	○	○	○	○	○
品質	○	○	○	○	○	○
安定供給	○	○	○	○	○	○
リードタイム	○	○	○	○	○	○
納期遵守	○	○	○	○	○	○
コスト	○	○	○	○	○	○
柔軟性	○	○	○	○	○	○
リスク対応力	○	○	○	○	○	○
コンプライアンス	○	○	○	○	○	○
改善力	○	○	○	○	○	○

日系事業者の強みと望む事項

<強み>

- **コミュニケーション**
特に異常発生時の
トップの強いコミットメント
- **当社のオペレーション**
ニーズに対する深い理解
- **リスク発生時の対応力**
(タイ洪水、オペレーション
不具合発生時など)
- **安全／品質／納期に
対する拘り**

<望む事項>

- **継続的なコスト低減**
- **ローカル人材の育成**
- **積極的な提案**